

校則検討委員会でのデザインコンペ

7月17日の放課後に、以下の24人のメンバーが参加して、校則検討委員会を開催しました。

- 委員長：教頭
- 副委員長：PTA 会長、生徒会長
- 保護者代表：PTA 副会長、各学年幹事長（5人）
- 同総会代表（2人）
- 職員代表：主幹教諭、各学年主任・生徒指導担当、養護教諭（7人）
- 生徒代表：生徒会三役、議長、生活向上課代表（7人）



検討委員会の様子（参加業者のプレゼンは意図的に削除しています）

今回、業者による新制服のデザインコンペを行いました。これまで、本検討委員会を何度も開催し、全校生徒での話し合いを重ねて、今回のデザインコンペを迎えました。

4社に参加していただき、魅力的な制服デザインのプレゼンが行われました。どの案も魅力的で、参加した委員からも感嘆の声が上がっていました。

最終的には、委員の皆さんで提案内容を検討し、4案に絞り込んでもらいました。今後、この4案の実物を見たり触れたりしてもらい、投票によって最終決定する予定です。詳しくは、担当からお知らせします。

夏休み期間をどう過ごすか

本日、1学期の終業式を行いました。私からは、次の2点について話

しました。

○元気に事故のない生活を！

何よりも大切なこと。このために「夏休みのくらし」のきまりがある。

○家庭で社会で、気の利いた附中生たれ！

学校を離れるからこそ、様々な経験を積極的に。

家庭や社会で、自分のため人のために「気の利いた行動」を。

また、各学年代表が1学期の振り返りを発表してくれました。3人とも素晴らしい内容でした。一部省略しながら紹介します。

【1年1組 西田梨花】

みなさん、一学期は充実した日々を送ることができましたか。私はこの一学期とても充実した時間を過ごし、成長することができました。

一つ目の成長できたきっかけは附中の三大行事である体育大会です。体育大会ではクラス全体で成長できたと思えました。一年生は台風の目、リレーを学年で競い合いました。どちらもクラス、チームでの協力が必要な競技で、特に台風の目では全員で同じ目標に向かっていくことでクラスで団結し、「もっとこうしよう」と工夫し、声を掛け合ったりしました。そのおかげで一位を勝ち取ることができ、結果を聞いたときはとても嬉しく思いました。それと同時に団結し、努力してきた1年1組を見てこんなクラスはなかなかないだろうな、と思えました。そしてこの体育大会をきっかけにクラスでの団結力を高めることができ、クラスの雰囲気もそれまでより明るくいい雰囲気になりました。

次は私自身が成長したことです。私が成長したことは授業の中で手を挙げ、発表することが今までより多くできるようになった、ということです。4月初めてクラスメイトと出会ったときは緊張と不安でいっぱいでした。私は発表が得意な方ではないので手を挙げることがあまりできませんでした。ですが一学期、授業の中でいろいろなことを学び、社会では学んだことを振り返りまとめる力が、国語では意見を整理する力が身につく、各教科のそれぞれの学びから自分の意見に自信が持てるようになり、手を挙げることが今までよりも多くなりました。そして発表ができるようになったのは体育大会や普段の生活を通してクラスや学年の人たちと仲を深めることができ、このように体育大会などの行事を通して一学期とても成長しました。ですがクラスとし

でも個人としても課題がまだまだあります。私も附中生として、クラスの一員として、もっと良くなるように自分にできることを精一杯していきたいと思います。

【2年1組佐藤碧斗】

とても充実した1学期になりましたが、今振り返ると反省するべきところもありました。その反省を活かし、立てた2学期の目標が2つあります。それは「建設的でわかりやすい意見を言うこと」と「多くのことにチャレンジすること」です。

まず、「建設的でわかりやすい意見を言うこと」について。毎朝、唱和している望ましい附中生の2つ目に「建設的意見を尊重し、進んで作業する生徒」とあります。僕はこの目標の「建設的な意見」というところが今振り返ってみるとあまりできていなかったように思えます

一学期では、全校国語やルールメイキングなどみんなで話し合う中で、合意形成をはかる場面がこれまで以上に増えていました。僕も意見を言うことがあったのですが、相手に伝えるときに要点がまとまっておらず、根拠や理由がわかりにくかったため、自分の意見を正しく伝えられなかったり、ときには混乱を招いてしまうことがありました。また、体育大会でリーダーとして指示を出す機会があった時にも全員に明確に伝えることができず、悔しい思いをした時もありました。そのため2学期では、二つの「対話モデル」を意識し、根拠や理由付けを明確にしながら、伝えたいことや大事なことを的確に言えるようにしたいです。

次に「多くのことにチャレンジすること」についてです。僕は1学期に、僕の心の中に住むもじもじモンスターに負け続けていました。もじもじモンスターとは、何かを行う際に、僕を不安や心配な気持ちにさせ尻込みをさせてしまうモンスターです。

僕は去年、体育健康科だったこともあり、今年は体育大会実行委員になりました。そこでの仕事としては、大きく二つ「自分の学年のこと」と「学校全体でのこと」がありました。「自分の学年のこと」は身近だったため、それなりに頑張ることはできましたが、「学校全体でのこと」に関しては、思うように動くことができず、課長や実行委員長を始めとした、三年生の先輩方に任せっきりになってしまいました。他にも実行委員として前に出た際には、大勢の前で堂々と発言ができないだけでなく、普段の発表でも尻込みしてしまい、うまく話せないこともありました。

ファッションデザイナーのココ・シャネルさんの言葉に「翼を持たずに生まれてきたのなら、翼を生やすためにどんなことでもしなさい」という言葉があります。1学期の僕にはモジモジモンスターを心から追い出す翼はありませんでした。しかし、2学期は、翼をはやすためにさまざまなことにチャレンジします。そして心の中のモジモジモンスターを撃退して見せます。ちなみに、話している今現在も必死でモジモジモンスターと戦っています。

そこで夏休み、2学期に具体的にチャレンジしたいことは「総合的な学習の時間で

の探究学習」です。僕は今、総合で植木町の活性化を目標としています。先日、商工会議所の方にお話をいただき、さらに意見が深まりました。植木町のことについて探究するためには、柔軟に対応すべきことはもちろんですが、失敗してしまうこともあると思います。しかし、そんな時だからこそチャレンジ精神を忘れずに、竹のように心をしなやかにもって頑張っていきたいです。

僕はこの2つの目標を持って夏休み、2学期を頑張ろうと思います。皆さんも2学期にどんな自分になりたいかを考える機会として、この夏休みを活用してみたらどうでしょうか。どうぞ良い夏休みをお過ごしください。

【3年1組 田上忠寛】

みなさん。松島校長先生が始業式にお話された附中生の理想像を覚えていますか？「気の利いた附中生」です。今から「気の利いた附中生」の「可能性は無限大、何にでも挑戦を」という文言に対する僕の1学期の振り返りをお話したいと思います。

1つ目は体育大会です。体育大会では、憧れだった団長となり、学校全体を引っ張るリーダーとして体育大会を成功させるため、試行錯誤を重ねました。そんな僕ですが、昨年までリーダーという経験をあまりしたことがなく、人前で話すことや、指示を出すことなどに苦手意識がありました。しかし、リーダー会の仲間や、団の皆さん、先生方、そして附中生全員によって支えていただき、体育大会を多くの人にとってかけがえのないものとなるよう、学校全体を引っ張ることができました。

2つ目は野球部で仲間と共に戦った中体連です。最後の中体連、とても緊張していましたが、僕の投げる球を受けてくれるキャッチャーや、バックで支えてくれる仲間を信頼して戦えたからこそ、緊張の中でも自分のピッチングができ、悔いのない中体連にできたと思います。

これらの経験から、さまざまなチャレンジをし、目標に向かって最後まで取りくむ力をつけることができました。また、これらの力が身についたとしても継続させていくことが一番大切だと思います。ですが、普段の生活を振り返ってみると、体育大会期間中だけのようになっているという現状があります。なので、2学期では「継続させていく」ということを意識して、今自分が持っている力を成長させていきたいと思っています。

このように僕の1学期はこれらの2つの経験のように挑戦、そして多くの人に支えられた4ヶ月間となりました。2学期では、3年生は受験勉強、2年生は課活動の引き継ぎ、1年生は初めての合唱コンクールなど、たくさん新たな扉が待っていると思います。何事にも挑戦し、そして挑戦している人を応援する、そんな関係を目指し、気の利いた附中生に近づけるような2学期にしていきたいと思います。僕ももっと他者との関わりを大切にし、そしてリーダーとしてみんなが笑顔で楽しめ、メリハリも徹底できるような雰囲気を作っていけるよう頑張っていきたいです。